

受付番号

202413

許可番号

大歯医倫 第 111350 号

研究課題名

小児肝がんに対する臨床試験実施症例の長期予後と合併症調査研究

研究責任者

祖父江 育子

申請者

祖父江 育子

研究終了日

2026 年 3 月 31 日

所属

看護学部 小児看護学領域

所属

看護学部 小児看護学領域

職名

教授

職名

教授

申請の概要

小児肝癌は、小児の肝臓に発生するまれな悪性腫瘍で、その大部分が肝芽腫と呼ばれる小児に特有な腫瘍で、一部に成人型肝癌が含まれ、日本では、年間 30～40 例の発生である。1980 年代までは手術による完全切除が唯一の治療手段であったが、1990 年代になり、抗癌剤を併用することで、従来、手術不可能であった腫瘍や、転移のある腫瘍も治癒する症例が報告されるようになり、患者と代諾者の同意のもと化学療法（シスプラチンとアンソラサイクリン系薬剤）と手術療法をくみあわせた治療プロトコール JPLT1（1990-1999）、JPLT2（2000-2012）、JPLT3（2012-+2020）を実施し、治療成績の向上が得られている。現在は、JPLT4 試験実施中であるが、小児がんの晩期合併症や二次がん対策が必要となってきた現時点で、JPLT1-3 試験の患者の長期予後と合併症について調査研究を実施し、小児肝がんの晩期合併症対策に役立てることを目的としている。